Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 を導入する場合の

「JIS90」フォント環境の設定方法

Windows Vista 以降で標準採用された「JIS2004」フォントパッケージは三重県電子調達 システムではご利用になれません。Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 をご利用になる場合は、次の手順にしたがって「JIS90」フォント環境を使用するように設 定変更を行って下さい。

1. Windows Vista の場合

Windows Vista を導入する場合には、下記(1)および(2)の方法によって、JIS90 フォント環境を使用するようにしてください。

(1) Windows Vista クライアント環境に JIS90 フォントパッケージをインストールしま す。手順については、下記 URL を参照してください。

Windows Vista 向け JIS90 フォントパッケージ: http://support.microsoft.com/kb/927490/ja

※上記パッケージの適用により、対応するタイプフェース(フォント)に限り、画面上に表示される字形が JIS90 フォント環境と同等になります。 また、このパッケージには JIS2004 にて追加された文字(JIS90 フォント環境では使用できない文字)の入力を制限する機能が含まれていないことを確認していますので、必ず下記(2)の対応をあわせて実施してください。 (2)日本語入力用 IME での変換対象を従来の「JIS90」に制限します。以下に Microsoft IME における対応方法を示します。

IME プロパティを開く→[変換]タブ→[変換文字制限]で、「JIS X 0208 文字で構成され た単語/文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる。

全般	変換 編集操作 和英混在入力 辞書/学習 オートコレクト	
変換		-1-1
	初期変換モード(C):	-
	▼カーソル位置の前後の内容を参照して変換を行う(T)	1
	自動変換を行うときの未変換文字列の長さ	
	 9 短め(S) 長め(L) 	
	☑ 句読点などの文字が入力されたときに変換を行う(○)	
	□、/,(Y) ▼。/.(Z) □終わりかっこ(G)	
	 ✓ (() ▲ () ■ () ○ 注目 ☆ 約 約 約 オストキー 約 約 前 小 注目 ☆ 約 約 次 注目 ☆ 約 か か か か か か か か か か か か か か か か か か	
	□ 注日ス単の特別することで移動前の注日ス単と唯定する(□) 送けがなどかな得いの其准。	
	◎ <u>全部(F)</u> ◎ 通則(M) ◎ 本則(P)	
6	家換文字制	
/3.1+		
候補	一覧 候補→野に追加で表示する文字語・	
	「「「「」」」、「「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」	·マ字(B
	▼メイン キーボードの数字キーで候補を選択する(B)	
	異なる文節区切りの変換候補を表示する(D)	
ЦX	トの表示	10
	 ✓ 文字コメントを表示する(V) ✓ 単語コメントを表示する(N) ✓ "環境依存文字"の文字コメントを表示する(E) 	

licrosoft IME 変換文字制限	<u>.</u>
特定の文字を含んだ単語の変換を制御します。	
⟨√] JIS × 0208文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する(J)!	\geq
JIS X 0208文字で構成された単語や文字のみを変換します。制 限された文字コードのアプリケーションなどをお使いの場合、こ のチェックボックスをオンにしてください。(推奨: オフ)	
外字の入力を許す(A)	
□ 印刷標準字体で構成された単語のみ変換候補に表示する(P)	
印刷標準字体に定義されている漢字で構成される単語は、簡易 慣用字体など印刷標準字体以外の文字を含む単語には変換し ません。一部の印刷標準字体は、フォントが対応していない場合 があります。(推奨:オフ)	
OK キャンセル ヘルプ	

2. Windows 7 の場合

Windows 7 を導入する場合には、下記(1)および(2)の方法によって、JIS90 フォ ント環境を使用するようにしてください。

(1) Windows 7 クライアント環境に JIS90 フォントパッケージをインストールします。 詳細については、下記 URL を参照してください。

Windows 7 向け JIS90 フォントパッケージ: http://support.microsoft.com/kb/927490/ja

※上記パッケージの適用により、対応するタイプフェース(フォント)に限り、画面上に表示される字形が JIS90 フォント環境と同等になります。 また、このパッケージには、JIS2004 にて追加された文字(JIS90 フォント環境では使用できない文字)の入力を制限する機能が含まれていないことを確認していますので、必ず下記(2)の対応をあわせて実施してください。

(2)日本語入力用 IME での変換対象を従来の「JIS90」に制限します。以下に Microsoft IME における対応方法を示します。

IME プロパティを開く→[変換]タブ→[変換文字制限]で、「JIS X 0208 文字で構成され た単語/文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる。



Microsoft IME 変換文字制限
特定の文字を含んだ単語の変換を制御します。
◎ 変換文字制限をしない(<u>N</u>)
○ サロゲート ペアを含まない単語/文字のみ変換候補に表示する(U)
○ Shift JIS 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する(5)
◎ JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する()
JIS X 0208 文字で構成された単語や文字のみを変換します。制限された文字コー ドのアプリケーションなどをお使いの場合、このチェックボックスをオンにしてください。(推 奖: オフ)
外字の入力を許す(A)
◎ 印刷標準字体で構成された単語のみ変換候補に表示する(₽)
印刷標準字体に定義されている漢字で構成される単語は、簡易慣用字体など印 刷標準字体以外の文字を含む単語には変換しません。一部の印刷標準字体は、フ ォントが対応していない場合があります。(推奨: オフ)
OK キャンセル ヘルプ

3. Windows 8.1、Windows 10 の場合

Windows 8.1、Windows 10 を導入する場合には、下記(1)の方法によって、JIS90 フ ォント環境を使用するようにしてください。

(1)日本語入力用 IME での変換対象を従来の「JIS90」に制限します。以下に Microsoft IME における対応方法を示します。

IME プロパティを開く→[詳細設定]→[変換]タブ→[詳細設定]で、「JIS X 0208 で構成 された文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる。

器 Microsoft IME の設定		1770		×
予測入力				
☑ 入力履歴を使用する(<u>H</u>)	入力履歴0)消去(<u>L</u>)	
誤変換 □ 誤変換データを自動的に送付	言する(<u>C</u>)			
Ź	ライバシーに関する	<u>5声明を</u>	<u>読む</u>	
詳細設定(<u>A</u>)				
	ОК		キャンセノ	V

全船 麥:		L					×
IN X	換 和英混在	入力 辞書/	(学習 オート:	コレクト	予測入力	プライバシー	その他
変換 ——							
自動変	を換を行うときの未	·変換文字列	の長さ				
	○ 短め(S)	● 長め(L)					
☑挿	入時、前の内容を	参照して変換	≬する(T)				
□異	なる文節区切りの	変換候補を剝	長示する(P)				
🗹 X1	ンキーボードの数	字キーで候補	を選択する(B)				
□注	目文節が移動する	るときに移動す	前の注目文節を	確定す	බ(U)		
候補−	-覧に追加で表示	する文字種:					
	ひらがな(I) 半角カタカナ(K)	✓ 全角力	1タカナ(W) 字(R)	i.	ŧ細設定(D)		
コメントの表	示						
🗹 文5	字コメントを表示す	-ā(V)					
☑ "環	境依存文字"の3	文字コメントを	表示する(E)				
☑ 単調	語コメントを表示す	-ā(N)					
フォントの固	定 ———						
☑ 候	補一覧のフォントを	2固定する(X)					
	_						
			-C 147 147		Labor Contraction of the		- 11 - A
		UK	4770	ŀ	適用(A))	ヘルプ
を摘		UK	4770		適用(A))	ヘルプ
E換		UK	4770		適用(A))	ヘルプ
変換 送りがなとかな	置いの基準 ――	説明と例	47763		適用(A))	ヘルプ
変換 送りがなとかな ③ 全部(F	置いの基準 う)	説明と例すべての送	イヤノビノ	レ (た出るよ	適用(A))	ヘルプ
E換 送りがなとかな ● 全部(F ○ 許容も ○ 未割げ	遣いの基準 う 含める(M) (H(cまる(R)	説明と例 すべての送 あら	マックビン り方が変換候補 わす	レ 前に出るよ → 表	適用(A)		ヘルプ
 (換 送りがなとかな ① 全部(f ○ 許容も ○ 本則だ 	這いの基準 合める(M) けにする(R)	説明と例 すべての送 あら あき	イマノビ) り方が変換候補 わす り さらし	レ 能出るよ → 目 → 吹	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き	さらし、吹曝し、	ヘルプ
E換 送りがなとかな ● 全部(F ○ 許容も ○ 本則だ	遭いの基準 含める(M) 付にする(R)	説明と例 すべての送 あら あき	マックビン り方が変換候補 わす り さらし	レ 前に出るよ → 長 → 吹	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き	さらし、吹暖し、	ヘルプ 吹さらし
 E換 送りがなとかな 金部(F 許容も 本則だ 句読点変換 	遭いの基準 う 含める(M) けにする(R)	説明と例 すべての送 あら あき	イマノビ) り方が変換候補 り さらし	レ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き	さらし、吹曜し、	ヘルプ 吹さらし
 変換 送りがなとかな 全部(F 許容も 本則だ 句読点変換 句読点 	遭いの基準 う 含める(M) けにする(R) 気などの文字が入ナ	説明と例 すべての送 あら のも ふき	マックビン り方が変換候補 わす り さらし 変換を行う(0)	レ 能出るよ → 長 → 吹	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き)	ヘルプ 吹さらし
E換 送りがなとかな ● 全部(F ● 許容も ● 本則だ 句読点変換 ■ 句読点	遭いの基準 う 含める(M) 付にする(R) 読などの文字が入力 、(Y) ☑。/.	説明と例 すべての送 あら めも ふき コされたときに多 (Z) 第	マックビ り方が変換候補 わす り さらし を換を行う(O) をわりかっこ(G)	レ 能出るよ → 長 → 吹	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き ?(Q) 📿) さらし、吹暖し、 !(E)	ヘルプ .吹さらし .(X)
 ぞ換 送りがなとかな	遣いの基準 つ 含める(M) 付けにする(R) 点などの文字が入力 , (Y) ☑ 。./.	説明と例 すべての送 あら のも ふき (Z) 第	マワビ り方が変換候補 わす り さらし を換を行う(0) をわりかっこ(G)	レ 前に出るよ → 長 → 吹	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き ?(Q)) さらし、吹曝し、 !(E)	ヘルプ ・(X)
 E換 送りがなとかな 全部(「) 許容) 本則だ) 句読点変換 〕 句読点 ① 切読点 ① マクテ制 ○ 変換文 	遭いの基準 う 含める(M) 付にする(R) 減などの文字が入力 、(Y) ☑。/. ミ マ宇制限をしない(N	説明と例 すべての送 あら めま ふき (Z) 第 り	ママノビ り方が変換候補 わす り さらし を換を行う(O) をわりかって(G)	レ 前に出るよ → 長 → 吹	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き ?(Q) ✓) さらし、吹曝し、 !(E)	ヘルプ .吹きらし ·(X)
 E換 送りがなとかな ④ 全部(F ○ 許明)だ ○ 本別)だ 句読点変換・ □ 句読点 ① 気換文字制順 ○ マ変換文 ○ IVS (Id) 	違いの基準 う 含める(M) 付にする(R) 反などの文字が入力 、(Y) ☑。/、 そ マ字制限をしない(N leographic Variat	説明と例 すべての送 あら めま ふき たたときに多 (Z) 『 彩 ion Sequence	マックビ り方が変換候補 り さらし を換を行う(O) 冬わりかっこ(G) =) を含む文字を	レ 能出るよ → 目 、 一 、 制限す:	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き ? (Q) 📿) さらし、吹曝し、 !(E)	ヘルプ 吹さらし ・(X)
変換 送りがなとかな ● 全部(f ● 許明 の 前点 変換 の し の 読点 変換 の し の 読点 の たい の に い の に い の に い の に い の に い の い の に い の い の	遭いの基準 う 含める(M) 付にする(R) マ字制限をしない(N leographic Variat -ト ペアを含む文字	説明と例 すべての送 あら めま ふき に (Z) 3 り ion Sequence を制限する(U	ママノビ) シカガ変換候補 わす シリ さらし を換を行う(O) をわりかっこ(G) =) を含む文字を) #(++===================================	レ 能 出 る よ 表 目 吹 「 一 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 、 一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 ぎ曝し、吹き ?(Q) 2 5(V)) さらし、吹曝し、 !(E)	ヘルプ 吹さらし ・(X)
 変換 送りがなとかな() ● 許部() ● 許朝)だ ● 「「「」」、 () 	遭いの基準 う 含める(M) 付にする(R) などの文字が入力 、(Y) ☑。/. マ字制限をしない(N leographic Variat -トペアを含む文字 IS で構成された文 208 で携成された文	説明と例 すべての送 あら が うされたときに多 (Z) 第 り) ion Sequence を制限する(U 字のみ変換 模 な字のみ変換	マックビ) ジ方が変換候補 わす り ささらし を換を行う(O) をわりかっこ(G) 補に表示する(S) 伊雄にまっする	レ 能 出 る よ 表 目 吹 (制 限 す () ()	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き ? (Q) 🛛) さらし、吹曜し、 !(E)	ヘルプ 吹さらし ・(X)
 変換 送りがなとかな 全部(f) 許容も 本則だ す読点 す読点 の読点 、/ 変換文字制版 マ変換文字制版 りいS (Id) りいS (Id) いいS (Id) の」SSA(1) の」JSX 0 の 	遣いの基準 う) 含める(M) 対にする(R) などの文字が入力 , (Y) ▽。./. で を制限をしない(N leographic Variat ートペアを含む文字 IS で構成された文 208 で構成された) 空の入力を許す(A	説明と例 すべての送 あら めも ふき に うされたときに多 (Z) ■ 彩 い ion Sequence を制限する(U 字のみ変換 文字のみ変換	マックビ り方が変換候補 わす り ささらし を換を行う(O) をわりかって(G) 補に表示する(S 様補に表示する)	レ 能出るよ ま目吹 (加) ())	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き ?(Q) 📿 5(V)) さらし、吹曝し、 !(E)	ヘルプ .吹さらし ·(X)
E換 送りがなとかな ① 全部(f ① 許事規)だ ① 本規)だ ① 本規)だ ① 数 ② な数 ② な数 ② たい ③ い Shitu ③ JIS X 0 ③ 印刷欄	遭いの基準 う 含める(M) 付にする(R) などの文字が入力 、(Y) ☑。/. 、 マ宇制限をしない(N とのgraphic Variat ートペアを含む文字 IS で構成された; 字の入力を許す(A 輕字)体で構成された;	 説明と例 すべての送すのあらめも、 うされたときに多い。 うされたときに多い。 ういのを有いためののでの制限する(U 字のみ変換検) いた単語のみる 	マックビ) ジ方が変換候補 わす ジ さらし を換を行う(O) をわりかっこ(G) 補に表示する(S) 様補に表示する(S)	レ 能 は 出 る よ 表 目 吹 ()) ()) ()) ()) ()) ()) ())	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き ?(Q) 🗹) さらし、吹曜し、 !(E)	ヘルプ 吹きらし ・(X)
 変換 送りがなとかな(の全部(F) 許引) () 本引) () 本引) () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () (遣いの基準 う 含める(M) 対にする(R) などの文字が入力 、(Y) ▽。/、 、 (Y) ▽。/、 、 (Y) ▽。/、 、 (Y) ▽。/、 、 マ=制限をしない(N に マ=制限をしない(A に マートペアを含む文字 い なされた文 208で構成された文 空の入力を許す(A 繁华字体で構成された)	説明と例 すべての送 あら めき うされたときに多 (Z) 『 ジ い) ion Sequence を制限する(U 字のみ変換) いた単語のみ多	マックビ り カす り さらし を含む文字を) 補に表示する(5) 変換候補に表示する 変換候補に表示する	レ 能出るよ ま目吹 (制限す) ()) ()) () ()	適用(A) うにします。 す、表わす 盛り、目盛 き曝し、吹き 7(Q) 2 5(V)	さらし、吹曝し、 !(E)	ヘルプ 吹さらし ・(X)

4. Microsoft Office 付属の IME 2007 / 2010 を使用している場合

Microsoft Office 付属の IME を利用する場合は下記の対応を行い、JIS90 フォント環境を使用するようにしてください。

IME プロパティを開く(※1)→[変換]タブ→[詳細設定]で、「JIS X 0208 文字で構成 された単語/文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる。

全般	変換	和英混在入力	辞書/学習	オートコレクト	予測入力	プライバシー	その他
変換						-144	
	初期変換	ŧモード(<u>C</u>):	一般			•	
	 □ カーソ 自動変援 ■ 異なる ▼ メイン □ 注目ご (補一覧) ○ ひ 	NUU直の前後のA 製を行うときの未変計)短め(S) ③文節区切りの変形 キーボードの数字 文節が移動するとき 訂に追加で表示する らがな(I) 約カタカナ(K)	1谷を参照しし 奥文字列の長 奥候補を表示: キーで候補を込 キーで候補を込 な文字種: ▼全角カタカ ■ローマ字(E	変換をITフ(D) き: する(P) 軽択する(B) E目文節を確定 ナ(W)	:する(<u>U</u>) 詳細設定(<u>D</u>		
2%2	小の表示 文字: 文字: マ 単語: マ "環境	、 コメントを表示する(コメントを表示する(見依存文字"の文字	⊻) №) 『コメントを表示	चिठ(<u>E</u>)			
ノオン	/ F())回定 □ 未確? ▼ 候補-	= 定文字列のフォント →覧のフォントを固注	を固定する(E) 定する(<u>X</u>)				

 	説明と例 すべての送り方が変換候補に出るようにします。 あらわす → 表す、表わす くもり → 曇り、曇 ふきざらし → 吹き曝し、吹暖し、吹さらし
句読点変換 	
□ 句読点などの文字が入 □、/,(Y) □	、力されたときに変換を行う(Q) /. (Z) □終わりかっこ(G) ☑? (Q) ☑! (E) □・(X)
 サロゲート ペアを含まな Shift JIS 文字で構成。 	にい単語/文字のみ変換候補に表示する(<u>U</u>) された単語/文字のみ変換候補に表示する(S)
 サロゲート ペアを含まな Shift JIS 文字で構成。 JIS X 0208 文字で構) JIS X 0208 文字で構 どをお使いの場合、この 	はい単語/文字のみ変換候補に表示する(U) された単語/文字のみ変換候補に表示する(S) 成された単語/文字のみ変換候補に表示する(J) 成された単語や文字のみを変換します。制限された文字コードのアプリケーションな Dチェックボックスをオン(こしてください。(推奨: オフ)
 サロゲート ペアを含まな Shift JIS 文字で構成。 JIS X 0208 文字で構成 JIS X 0208 文字で構成 JIS X 0208 文字で構成 レンクション レンクション サキの入力を許す(はい単語/文字のみ変換候補に表示する(U) された単語/文字のみ変換候補に表示する(S) 成された単語/文字のみ変換候補に表示する(J) 成された単語や文字のみを変換します。制限された文字コードのアプリケーションな Dチェックボックスをオンにしてください。(推奨: オフ) (A)
 サロゲート ペアを含まな Shift JIS 文字で構成。 JIS X 0208 文字で構) JIS X 0208 文字で構) ZES X 0208 文字で構) どをお使いの場合、この 外字の入力を許す) 印刷標準字体で構成。 印刷標準字体に定義。 文字を含む単語には変 (推奨:オフ) 	はい単語/文字のみ変換候補に表示する(U) された単語/文字のみ変換候補に表示する(S) 成された単語/文字のみ変換候補に表示する(J) 成された単語や文字のみを変換します。制限された文字コードのアプリケーションな Dチェックボックスをオンにしてください。(推奨: オフ) (A) された単語のみ変換候補に表示する(P) されている漢字で構成される単語は、簡易慣用字体など印刷標準字体以外の E換しません。一部の印刷標準字体は、フォントが対応していない場合があります。

※1 IME 2007 のプロパティを開く際、ご使用の環境によって以下に示すメッセージが発生し、設定が変更出来ない場合があります。

X 🛁 Microsoft IME のプロパティ この機能は、スタンダード 権限を持つアプリケーションからのみ利用できま す。 スタンダードユーザー権限を持つアプリケーションから起動してご利用くださ 610 OK

この現象が発生した際は、Microsoft ホームページの以下の URL に記載されております情報を参考に対応を行ってください。

KB931482 Windows Vista の Internet Explorer 7 で顔文字などの登録した単語が使用 できない。

http://support.microsoft.com/kb/931482/ja

上記 Microsoft IME 以外の対応方法については確認しておりません。Windows クライアン ト環境において三重県電子調達システム上での文字入力操作を行う場合には、上記対応を 実施した Microsoft IME (Windows 標準の IME または Microsoft Office 付属の IME) をお 使いください。